



3月～5月とこんなに学校に行かない日が続くのはみんな初めてではないでしょうか？
 テレビでは9月入学案が話題で、何か、時間が止まっているような、今年度が始まっていないようなそんな気がしてきます。みんなもそうではないでしょうか。でも僕は「本当にそうかな？」と思います。新1年生として48回生は確かに入学してくれましたし、46回生、47回生は確かに1つ先輩になりました。転勤された先生に代わって新しい先生も赴任されました。時間は止まってなどいません。休校期間中にだらけてしまった人はたくさんいると思います。僕も同じです。仕事を頑張っているつもりでも、生徒のいない学校はやる気が出ませんでした。僕たちは今を大切に、懸命に頑張れたでしょうか？みんなの高校生活は確実にカウントダウンが進んでいます。「終」を意識するからこそ、頑張れることもあると思うのです。
Dream as if you'll live forever. Live as if you'll die today.
 若くして亡くなった俳優ジェームズ・ディーンの名言です。有名なのでネットで調べてみてください。この言葉が指す意味のようにみんなと頑張りたいものです。 進路指導部長 K.K

3年進学希望者へ

休校期間も長くなり、のきなみオープンキャンパスも中止となり、不安に思っている46回生のみなさんもたくさんいると思います。何から調べたらいいの？という人はまず、
 ①入試の時期 ②入試科目 を調べてみてください。
 大学・短大・専門に関わらず、入試は3種類あります。今年から名称が変わります。

名称	総合型選抜 (昨年までAO入試)	学校推薦型選抜 (昨年まで推薦入試)	一般選抜 (昨年まで一般入試)
出願時期	9月以降	11月以降	主に年始以降
合格発表時期	11月以降	12月以降	主に年始以降

※現在の予定
 新型コロナの影響で
 変更の場合あり

どの入試で受験するのかを考えてみてください。大学受験の人は一般選抜まで考えておくべきです。みんな早い時期の入試で合格したいと考えます。みんなの先輩(卒業生)たちもそうでした。しかし、早い時期の秋の入試は力がまだついていないため、志望校に届かないことが多いです。入試科目を調べることは、どの科目を勉強するかが明確になるので、勉強のモチベーションにつながります。スタディサプリなどを活用し、勉強時間の確保に努めて下さい。1日8時間ですよ！

■安易な進路選択に注意

進学先は複数の学校を比べて検討することが大切です。特に専門学校は専門職を育成するところなので、入学後がとても大変とよく卒業生から話を聞きます。だからこそ自分に合った学校を選ぶべきです。オープンキャンパスが中止になる中、大変ですが安易に選ぶことなくじっくり考えてみてください。また、HP上で意図せず総合型選抜(AO入試)にエントリーしてしまったりがないように、担任の先生や保護者の方に相談して進めて下さい。残念な話ですが、卒業生で専門学校を退学してしまった人も聞きます。そうならないようにしっかり学校選びに時間をかけて下さい。専門学校は学校選びが大切なのです。大学・短大希望の人も同じです。受験がせまってくると、出願書類の準備や勉強に焦って、じっくりとも言ってもらえません。志望校や志望理由(なぜ進学したいか)をじっくり考えられるのは今です。

3年生対象 日本学生支援機構予約奨学金について

※3年生進学希望者必読

■奨学金は自分が借りるもの

貸与奨学金は、進学した後の学費に充てるお金を学生が借り入れるものです。つまり、返還の義務が生じるのは生徒のみなさん自身です。保護者の方ではありません。まずその自覚を持っておいてほしいと思います。そのため、無理な返済計画は禁物です。保護者の方とよく相談しましょう。

■日本学生支援機構奨学金の種類

- ①給付奨学金(返還義務なし)
- 貸与奨学金(返還義務あり)
 - ②第1種奨学金(利子なし)
 - ③第2種奨学金(利子あり)

日本学生支援機構の奨学金には大きくは①～③の3種類あると考えて下さい。
 すべての奨学金は申請をすれば必ず通る(もらえる)というわけではありません。それぞれには選考基準(学力基準と家計基準)があります。申請終了=奨学金が得られるわけではないということです。奨学金を受けられるか、受けられないかは日本学生支援機構が審査し、決定します。生徒向け説明会でも説明しますが、日本学生支援機構のHPでもあらかじめ確認しておいて下さい。

<https://www.jasso.go.jp/>

■予約奨学金とは

進学希望者が来年の4月以降の奨学金を高校在学中に予約申込みしておくものです。毎年よく質問がありますが、この機会を逃すともう申請できないというわけではありません。来年の4月以降、進学先の大学や専門学校でも申請することができます。進学する意思がすでに決まっており、奨学金が必ず必要になる人が予約奨学金の対象というわけです。今年度中の機会はこの1回です。

もう1つよく質問がありますが、申請が通ったとして、実際に来年度に進学先で「この学校に進学しました」という手続きをへて初めて、奨学金が支給されます。つまり、お金が手元にくるのは来年度以降です。進学先に今年度中に支払わなければならない入学金、初年度授業料、諸費用には奨学金は使えないので注意してください。入学金や初年度授業料などの費用を借り入れる必要がある場合は、日本政策金融公庫の「国の教育ローン」などがあります。

(参考：<https://www.jfc.go.jp/>)

■給付奨学金について

給付奨学金は返還の義務はありませんが、日本学生支援機構のガイドラインに示されている条件に合わなければ申し込むことができません。日本学生支援機構のHPにある「進学資金シュミレーター」等を利用し、条件に合うかどうか確認してみてください。また、申し込んだ人全員に支給されるわけではなく、日本学生支援機構の審査に合格する必要があるため、審査に通らなかったときのことも考えておく必要があります。そのため、給付奨学金を申請する場合は、貸与奨学金を併せて申請することを勧めています。また、進学後に随時、適格認定があり、満たない場合は支援が打ち切られる場合もあります。

HPを確認し、保護者の方とよく相談し、予約奨学金を検討して下さい。
 申請する人は登校日の説明会にて申込書類を渡します。

